

幌市中央区のホテルモント
レエーデルホフで北海道建
設部との意見交換会を開
き、安定的な事業量や担い
手の確保、働き方改革など
舗装事業を取り巻く諸課題
について情報共有した＝写
真。

意見交換会には舗装3団
体から舗装事業協会の三澤
朗副会長、道建協北海道支
部の中山晶敬支部長、アス
ファルト合材協会の玉川裕
一会長ら22人が参加。北海
道建設部からは塩田雅史技
監ら12人が出席した。

冒頭、3団体を代表して
あいさつした中山支部長
は、政府の強い経済を実現
する総合経済対策に触れ
「道路ネットワークの機能



強化や道路施設の老朽化対
策は、広域分散型の地域構
造を有する北海道の防災・
減災、国土強靱化対策にと
もに、経済の活性化に大き
く寄与する物と確信してい
る」とした上で、「舗装業

界ではアスファルト合材出
荷量低迷やプラントの減少
・老朽化など課題が山積し
ている。課題解決には企業
経営の安定化が欠かせな
い」と述べ、安定した事業
量確保をはじめ、担い手確
保や働き方改革推進に向け
た協力、支援を求めた。

塩田技監は、昨年末に閣
議決定された2026年度
北海道開発予算に触れ「国
の予算を最大限活用し、舗
装を含むインフラの老朽化
対策や北海道の発展に不可
欠な道路交通ネットワーク
の充実・強化などを推進し
ていく」と応じ、事業推進
への協力を求めた。

続く議事では道内の道路
事業や舗装業界を取り巻く
現状について互いに情報交
換し、担い手確保や働き方
改革など業界を取り巻く諸
課題解決に向けて認識を共
有した。

安定的な事業量確保を

道内道路舗装3団体
道建設部と意見交換

北海道舗装事業協会と日
本道路建設業協会（道建協）
北海道支部、北海道アスフ
アルト合材協会は26日、札

